オプション

・イヤホンマイク　EME-2（タイピンマイク、ストレートプラグ）
・イヤホン　EME-3（ストレートプラグ）
・変換プラグ　EDS-7
・スピーカーマイク　EMS-50

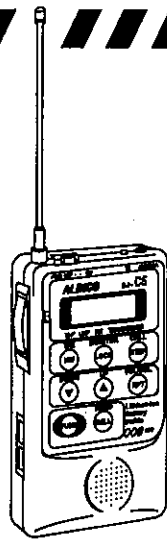
注意 下記の製品には変換プラグEDS-7が必要です。

・スピーカーマイク　EMS-9
・イヤホンマイク　EME-4（タイピンマイク）
・イヤホンマイク　EME-16（タイピンマイク）
・イヤホンマイク　EME-17（耳掛けタイプ）

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号日本橋プラザビル 1階 ☎03-3278-5888
大阪営業所 〒540-8580 大阪市中央区城見2丁目1番16号ツイン21MIDタワー 25階 ☎06-946-8140
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前1丁目3番6号第3博多偕成ビル 7階 ☎092-473-8034
札幌営業所 ☎011-231-7712　名古屋営業所 ☎052-212-0541
仙台営業所 ☎022-221-8220　広島営業所 ☎082-222-0234

お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。受付時間／10:00～17:00月曜～金曜(祝祭日は除きます)

PS0276

ALINCO

VHF/UHF DUALBAND FM HANDY TRANSCEIVER

DJ-C5

取扱説明書

アルインコのトランシバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読み下さい。また、この取扱説明書は必ず保存して下さい。ご使用中の不明な点や不具合が発生した時、お役に立ちます。

アルインコ株式会社

申請書の書き方

本機によりアマチュア無線局を申請する場合は、市販の申請用紙に下記の事項を間違いなく記載の上、申請して下さい。

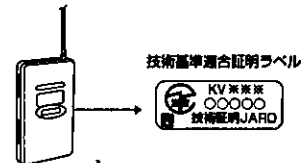
無線局事項書及び工事設計書（裏面）

希望する周波数の範囲、空中線電力、電波の形式			
周波数帯	周波数帯	空中線電力	周波数帯
144M	20	F3・・・・	
433M	20	F3・・・・	

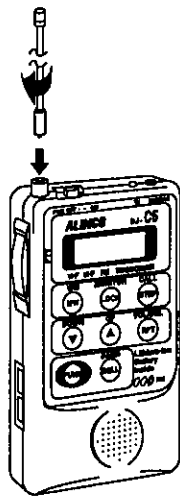
工事設計	第1送信機
変更の種別	取替 増設 撤去 変更
技術基準適合証明番号	KV・・・OOOOO
発射可能な電波の型式 周波数の範囲	
変調の方式	
定格出力	W
終段管 名称個数	
終段管 電圧	V
送信空中線の型式	単一型
その他の工事設計	電波法第3章に規定する条件に合致

技適証明発行願

送信機番号	技術基準適合証明番号（注）
記入例	
第1送信機	KV・・・OOOOO※
第2送信機	
第3送信機	
第4送信機	
第5送信機	
第6送信機	

※「KV・・・OOOOO」は、トランシーバー本体に貼られている「技術基準適合証明ラベル」の番号をご記入下さい。

付属品とアンテナの取り付け方

アンテナの取り付け方

本機をお使いのときは、図のようにアンテナを取り付けて下さい。

取り付けおよび取り外しは、本体の電源を切った状態で行って下さい。

※充電器については、別紙を参照して下さい。

修理に出される前に

症 状	原 因	処 置
電源を入れても、何も表示しない。	電池が消耗している。	充電して下さい。充電方法は別紙を参照して下さい。
スピーカーから音がでない。受信しない。	スケルチレベルが高すぎる。	適度なスケルチレベルに設定して下さい。
	音量設定が低すぎる。	音量(VOL)を上げて下さい。
	イヤホンが接続されている。	イヤホンを外して下さい。
	[PTT] が押されて送信状態になっている。	[PTT] を離して下さい。
	トーンスケルチ機能が動いている。	トーンスケルチを解除するか相手局のトーンと合致させて下さい。
送信ができない。	[PTT] が確実に押されていない。	[PTT] を押して、送信ランプが赤く点灯しているのを確認して下さい。
	シフト設定などにより、オフバンドになっている。	送信周波数の範囲内で送信して下さい。
どのキーを押しても、設定が変わらない。	キーロックがONになっている。	キーロックをOFFにして下さい。

ディスプレイ

T + M 888.8.8 75 50 25 88 BUSY LOCK F

- シフト方向（+/−）を表示します。
- トーン設定をすると点灯/点滅します。
- 周波数を表示します。
- メモリーモード時に点灯します。
- 選択されているメモリーチャンネルが点灯します。
- 信号を受信すると点灯します。
- キーロックをONにすると点灯します。
- [FUNC]を押すと点灯します。[FUNC]を押し続けると点滅します。

いろいろな機能

●**シフト設定**

[F] 点滅状態で [CALL/STEP] を押すと、シフト（受信周波数に対して送信周波数を変えて運用）モードになります。　0~99.995MHzの範囲で設定ができます。
・[CALL/STEP] を押すごとにシフト方向が「−」→「+」→「解除」と切り替わります。[PTT]を押して設定を完了します。
・周波数の設定は [▲]/[▼]を押して行います。1 MHzの単位の増減は [F] 点灯状態で [▲]/[▼]を押して行います。

●**トーン設定**

[F] 点滅状態で [VOL/SQL] を押すとトーン設定モードになります。
[VOL/SQL] を押すごとに「T点灯」→「T点滅」→「解除」と切り替わります。
・「T点灯」時トーンエンコーダー設定となります。
[▲]/[▼]キーでトーン周波数を39波の標準トーンから選択します。[PTT] を押して設定を完了します。
・「T点滅」時トーンスケルチ設定となります。（エンコーダーとデコーダーが同一周波数で設定されます。）
[▲]/[▼] キーでトーン周波数を26波(67.0～156.7MHz)の標準トーンから選択します。[PTT] を押して設定を完了します。

●**レピーターセット（UHFのみ）**

[F] 点滅状態で[MONITOR/LOCK]を押すとシフトを−5 MHz、トーンエンコーダーが88.5Hzに設定されます。

●**キーロックの切替**

[F] 点灯状態で [MONITOR/LOCK] を押すと、キーロックのON/OFFが切り替わります。キーロックがONになると、[PTT] による送信、[MONITOR/LOCK] によるモニターおよびロック解除、[VOL/SQL] による音量調節以外のキー操作ができなくなります。

基本的な交信のしかた

1 **電源を入れる**　電源スイッチをPWR ON（右）側にスライドさせます。

2 **音量を調整する**　[VOL/SQL] を押してから、[▲]/[▼] を押します。
・1～8の8段階で調整できます。数字が大きいほど音量が大きくなります。スピーカーで聴く場合は6～8にして下さい。
注意 イヤホンの場合、VOL.6～8は音量が大きすぎるので注意してください。

3 **スケルチを調整する**　[VOL/SQL] を2回押してから、[▲]/[▼] 押します。
・0～5の6段階で調整できます。数字が大きいほどスケルチが開きにくくなります。

4 **周波数を設定する**　周波数が表示されている状態で、[▲]/[▼] を押します。周波数が1ステップ単位で増減します。
・[F] 点灯状態で [▲]/[▼] を押すと、周波数が1MHz単位で増減します。

5 **受信する**　受信するとBUSY表示が点灯し、スピーカーから相手の声が聞こえます。
・相手の声が途切れるときは、[MONITOR/LOCK] を押すと、スケルチが開いて相手の声が聞きやすくなります。このとき、BUSY表示は点滅します。[MONITOR/LOCK] [BAND/BELL] / [V/M MW] / [CALL/STEP] / [FUNC] を押すと解除されます。

送信する　送信するときは [PTT] を押しながらマイクロホンに向かって話します。このとき、送信ランプは赤く点灯します。

危険⚠

本機は取扱いを誤りますと破裂、発火、発煙の恐れ、または性能低下、故障の原因になりますので、下記の禁止事項を必ずお守り下さい。

1. 本体を分解したり、改造したりしないで下さい。
2. 本体の充電端子部に金属類を差し込まないで下さい。
3. 高温になった車の中や炎天下など、高温になる場所での使用や保管はしないで下さい。また、湿気やほこりの多い場所には置かないで下さい。
4. 高所から落下させたり強い衝撃を与えないで下さい。
5. 充電には専用の充電器EDH-26を必ず使用して下さい。

寿命

本機はリチウムイオン電池を内蔵しています。常温で使用した場合、約500回程度繰り返して使用できます。充電してもすぐに使用できなくなる場合は、充電池の寿命ですので新しい電池と交換して下さい。電池の交換は販売店または最寄りの当社サービス窓口へご連絡下さい。

目次

送信機系統図

●送信機系統図DJ-C5

各部の名前と働き

①アンテナ

②電源スイッチ
電源を入れるにはPWR ON（右）に、電源を切るにはPWR OFF（左）側にスライドします。

③送信ランプ
送信中に点灯します。

④イヤホンジャック
オプションのイヤホンのプラグを接続します。
<注意 イヤホンを接続する前に音量レベル3程度まで下げてください。（→P.7）>

⑤PTTスイッチ
送信するには、このスイッチを押したままマイクに向かって話します。

⑥ディスプレイ
（→P.5）

⑦操作キー
（→P.6）

⑧マイクロホン

⑨スピーカー

定格

	DJ-C5	
送受信周波数	144.000~145.995MHz (20kHzステップ)	430.000~439.995MHz (20kHzステップ)
電波形式	F3（FM）	
送信出力	350mW	300mW
変調方式	リアクタンス変調	
スプリアス発射強度	−60dB以下	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	
受信感度	−16dBμ以下	−15dBμ以下
低周波出力	MAX 60mW (8Ω)	
マイクロホンインピーダンス	約2kΩ	
消費電流	送信時　約240mA 受信待受け時　約30mA	送信時　約300mA 受信待受け時　約40mA
接地方式	マイナス接地	
定格電圧	3.8V	
動作温度範囲	−10℃~+50℃	
中間周波数	1st IF 20.8MHz、2nd IF 450kHz	
寸法	56W×94H×10.6D（mm）（突起物除く）	
重量	80g（電池含む）	

操作キー

	単独で押した時	F点灯状態で押した時	F点滅状態で押した時
V/M MW	メモリー ⟷ VFO（→P.8）	メモリー書き込み（→P.9）	――
MONITOR LOCK	モニター機能（→P.7） リバース機能 シフト設定がされているときは、送受信周波数が入れ替わります。	キーロックの切替（→P.10）	――
CALL STEP	CALLモード（→P.9）	ステップ周波数の設定（→P.10）	シフト設定（→P.10）
▼	周波数のステップ減（→P.7）	周波数の1MHz減（→P.7）	バッテリーセーブ設定（→P.11）
▲	周波数のステップ増（→P.7）	周波数の1MHz増（→P.7）	オートパワーオフ設定（→P.11）
VOL/SQL	音量の設定（→P.7） スケルチレベルの設定（→P.7）	レピーターセット（→P.10）（UHFのみ）	トーン設定（→P.10）
BAND BELL	VHF/UHFの切替	BELL機能の設定（→P.11）	BEEP機能の設定（→P.9）
FUNC	Fが点灯します。 キーをしばらく押すとFが点滅します。	Fが消灯します。	Fが消灯します。

●ステップ周波数の設定
F 点灯状態で [CALL STEP] を押すと、ステップ周波数（▲/▼を押すごとに増減する周波数の量）設定モードになります。
・ステップ周波数の選択は ▲/▼ を押して行います。[PTT]を押して設定を完了します。

●バッテリーセーブ設定
F 点灯状態で ▼を押すと、バッテリーセーブ設定モードになりますので、▲/▼ を押してON/OFFを切り替えます。[PTT]を押して設定を完了します。バッテリーセーブがONになると、無信号、無操作の状態が5秒続くと自動的にバッテリーセーブ状態になります。

●オートパワーオフ設定
F 点滅状態で ▲を押すと、オートパワーオフ設定モードになりますので、▲/▼ を押してON/OFFを切り替えます。[PTT] を押して設定を完了します。オートパワーオフがONになると、無操作の状態が60秒続くとSCAN中であっても自動的に電源が切れます。電源を入れる時は、電源SWをOFFにし、5秒ほどしてから電源SWを入れて下さい。オートパワーオフで電源が切れると消費電力は抑えられますが、微少電流が流れるのでお早めに電源SWを切って下さい。

●リセット
[FUNC] と [V/M MW] を押しながら電源をONすると、[FUNC]を離した時点で下表のような工場出荷時の状態にリセットされます。

送受信周波数 VFO/CALL	145.000MHz 433.000MHz
ステップ周波数	20kHz
オフセット設定・周波数	解除・0.6MHz 5MHz
トーン設定・周波数	解除・88.5Hz
メモリー書き込み	なし
スケルチレベル	1
音量レベル	3

●BELL
F 点灯状態で [BAND BELL] を押すとBELL設定モードになりますので、▲/▼ を押してON/OFFを切り替えます。[PTT] を押して設定を完了します。BELL設定状態で、スキャン中であってもスケルチが開くとベル音が鳴り「bELL」表示が点滅します。この状態でいずれかのキーを押すとBELL設定がOFFとなり、スキャンも解除になります。

運用モード・いろいろな機能

運用モードには、VFO、メモリー、CALL、の3つのモードがあります。各モードは、右図のキー操作で切り替わります。

CALLモード
CALL STEP　CALL STEP
V/M MW　V/M MW
VFOモード ← V/M MW → メモリーモード

VFOモード

工場出荷時に最初に表示されるモードです。

●周波数の変更
▲/▼ を押します。周波数が1ステップ単位で増減します。

●バンドの変更
[BAND BELL] キーでVHF↔UHFのVFOが切り替わります。

●スキャン
▲/▼ をしばらく押したままにしておくと、スキャン機能が働きます。スキャンは入感のあった周波数で停止し、受信信号があっても5秒後にスキャンを再開します。（▲/▼ でスキャン方向が切り替わり、その他のキーで解除されます。）

メモリーモード

あらかじめ登録しておいた周波数を呼び出して運用します。1~50の50チャンネル用意されています。メモリーモードにするには [V/M MW] を押します。それぞれのチャンネルはVHF/UHFのどちらのバンドでもメモリーできます。

●メモリースキャン
メモリーモード時に ▲/▼ をしばらく押したままにするとメモリースキャン機能が働きます。
スキップ設定：メモリーチャンネル表示中に F 点灯状態で [BAND BELL] を押すと1MHzのデシマルポイントが消灯し、スキャンされないチャンネルが設定されます。元に戻すには同じ操作を行います。

●メモリーチャンネル呼び出し
書き込まれているチャンネルを呼び出すときは、メモリーモードにしてから ▲/▼ を押します。書き込まれていないチャンネルを呼び出すときは、メモリーモードにしてから F 点灯状態で ▲/▼ を押します。

●メモリー書き込み・消去
書き込みおよび書き替えは、希望のメモリーチャンネルを呼び出して後、[V/M MW] を押してVFOモードに戻り、周波数を合わせてから、F 点灯状態で [V/M MW] を押します。
消去は、消去するメモリーチャンネルを呼び出した後、F 点灯状態で [V/M MW] を押します。

※ [V/M MW] を押したままで電源を入れるとメモリーオンリーモード（周波数表示部に、周波数の代わりにメモリーチャンネルを表示）になります。CALLチャンネルはC1（144MHz帯）、C4（430MHz帯）と表示します。再度、[V/M MW] キーを押したまま電源を入れると周波数モードになります。

CALLモード

CALLチャンネルでの待ち受けや呼び出しを行うときに使用するモードです。VHF/UHFに各1チャンネルずつ用意されています。CALLモードにするには [CALL STEP] を押します。

●周波数の変更
周波数の変更は、CALLモードにしてから F 点灯状態で [V/M MW] を押します。ディスプレイのC表示が点滅するので、周波数を合わせてから [V/M MW] を押します。

●バンドの変更
[BAND BELL] キーで VHF↔UHF のコールチャンネルがVFOと運動して切り替わります。

BEEP機能の設定

●BEEP
F 点灯状態で [BAND BELL] を押すとBEEP設定モードになりますので ▲/▼ を押してON/OFFを切り替えます。[PTT]を押して設定を完了します。

ALINCO

充電器・ACアダプター
EDH-26・EDC-75
取扱説明書

アルインコのトランシーバー用充電器をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本機は当社のDJ-C1/C4専用のリチウムイオンバッテリー用充電器です。本機を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。また、この取扱説明書は必ず保存して下さい。ご使用中の不明な点や不具合が生じた時、お役に立ちます。

（C5にも対応）

アルインコ株式会社

はじめに

●本機は当社のDJ-C1/C4専用のリチウムイオンバッテリー用充電器です。
●本機に電源供給するACアダプターは下記の通りです。
AC 100V　EDC-75
●本機に電源供給するシガーライターケーブルは下記の通りです。
DC 12V　EDC-43（オプション）

危険 ⚠

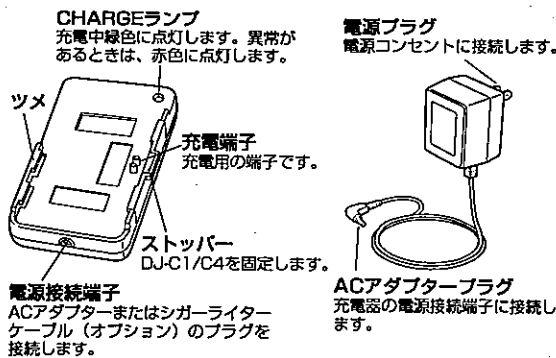
本機は取扱いを誤りますと充電される機器を含め、破裂、発火、発煙の恐れ、または性能低下、故障の原因になりますので、下記の禁止事項を必ずお守り下さい。
●本機はDJ-C1/C4専用の充電器ですので他の製品の充電には使用しないで下さい。
●本機を分解したり、改造したりしないで下さい。
●本機の電源接続端子や充電端子部に金属類を差し込まないで下さい。
●高温になった車の中や炎天下など、高温になる場所での使用や保管はしないで下さい。また、湿気やほこりの多い場所には置かないで下さい。
●高所から落下させたり強い衝撃を与えないで下さい。
●本機をご使用にならないときは、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて下さい。カーバッテリーから充電していた場合は、シガーライターケーブルをシガーソケットから抜いて下さい。
●本機をご使用にならないときは、本機からDJ-C1/C4を取り外して下さい。
●本機は周囲温度が0℃～+40℃の範囲内で充電できるように設計されています。周囲温度が0℃以下または+40℃以上になる場所での充電は避けて下さい。

各部の名前と働き

CHARGEランプ
充電中緑色に点灯します。異常があるときは、赤色に点灯します。

電源接続端子
ACアダプターまたはシガーライターケーブル（オプション）のプラグを接続します。

電源プラグ
電源コンセントに接続します。

ACアダプタープラグ
充電器の電源接続端子に接続します。

充電時間

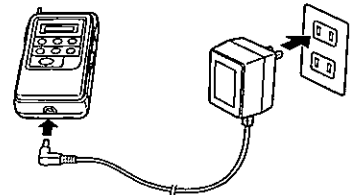
約2時間
充電終了まで待たなくても、充電時間に応じて使えます。また、充電の前に使い切る必要はありません。

定格

定格電圧 DC 12V 240mA
使用温度範囲　0℃～+40℃
充電電流 400mA（MAX）

充電方法

1 DJ-C1/C4に本機を取り付けます。
DJ-C1/C4の電源を切り、左下のミゾを充電器のツメに合わせたまま、DJ-C1/C4を下ろします。カチッと音がしてDJ-C1/C4が取り付けられます。
※取り外すときは、充電器右端のストッパーを押さえて取り外して下さい。

2 ACアダプターで充電器をACコンセントにつなぎます。

・充電中は本機のCHARGEランプが緑色に点灯します。
・充電がほぼ完了したところで緑色のCHARGEランプが消灯します。ACアダプターをコンセントから抜き、DJ-C1/C4を充電器から取り外して下さい。
※CHARGEランプが赤色に点灯した場合は、何らかの故障と思われますので、速やかに販売店または最寄りの当社サービス窓口へご連絡下さい。
※充電器にDJ-C1/C4を装着したとき、CHARGEランプが一瞬赤色に点灯することがありますが、異常ではありません。
※カーバッテリー（EDC-43使用）から充電するとき、バッテリーの電圧が下がるとCHARGEランプが赤色に点灯することがありますが、異常ではありません。

アルインコ株式会社
札幌営業所 〒060 札幌市中央区北一条西2丁目1番札幌時計台ビル4階 ☎011-231-7712(代表)
仙台営業所 〒980 仙台市青葉区一番町4丁目6番1号仙台第一生命タワービル15階 ☎022-221-8220(代表)
東京営業所 〒103 東京都中央区日本橋2丁目3番4号日本橋プラザビル14階 ☎03-3278-5888(代表)
名古屋営業所 〒460 名古屋市中区栄2丁目1番1号日土地名古屋ビル15階 ☎052-212-0541(代表)
大阪営業所 〒540 大阪市中央区城見2丁目1番61号ツイン21MIDタワー23階 ☎06-946-8140(代表)
広島営業所 〒730 広島市中区鉄砲町5番16号広島サンケイビル9階 ☎082-222-0234(代表)
福岡営業所 〒812 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号第3博多偕成ビル10階 ☎092-473-8034(代表)

PS0273